



つちおと



三条市立裏館小学校 学校だより NO.10

(槌音)

令和元年12月23日

裏館の子どもたちは、確実に成長してきています！

～裏小っ子たちの活動の数々。保護者と地域の皆様に支えられています～



【12/16 積雪時想定避難訓練：児童玄関のところで出火想定。通ってはいけない場所を回避して、出席児童 453 名が速やかに体育館に避難しました。】



【12/18 音楽朝会 1年生が「やまびこさん」「小犬のマーチ」を楽しく、堂々と発表しました。全校で12月の歌「喜びの歌」もドイツ語で歌いました】

- ◇ 避難訓練の全校の姿から、成長してきている部分を感じます。「勉強は80点で合格だが、命に関わる活動については、100点満点を目指す！」と指導してきました。ほとんど話をする子どもなく、素晴らしい訓練への参加態度でした。「満点の避難訓練だったか？」と子どもさんにご確認ください。
- ◇ 「音楽朝会」もすてきでした。1年生の歌「やまびこさん」と合奏「小犬のマーチ」、どちらも元気に、立派に発表しました。全校の「喜びの歌」（今月の歌）もドイツ語ですごかったです。1年生のアンコールの発表も保護者の皆さんには◎でした。「できること」が、どんどん増えてきています！

..... キ リ ト リ セ ン

学校だより「つちおと(槌音)」への感想、意見をお願いいたします。

ありきたりの「月予定の伝達」や「大会・コンクールなどでよかった成績の報告」だけで終わらせたくない～そんなふうに考えて、この学校だより「つちおと(槌音)」を書いてきています。

でも、やっぱり「保護者や地域の方々に読んでいただける内容」にしていかないと意味がありません。「子どもたちと学校生活の向上のために…」という役目もこの「学校だより」にはあると考えています。

ですが、『文章だけ』では、読みづらいだろうし、おもしろくない。やっぱり事実としての写真や実践したことも大切になってきます。そこをどういうふうに編集して伝えていくか、まとめていくかがポイントだろうと思って書いてきました。出している方は「この内容ならいいだろうな～」と構想していますが、それを読んだ側の皆様がどう受け止めていらっしゃるか。

「学校評価」でも、全部の保護者の皆さんを対象にアンケートを実施しています。それとは違いますが、ぜひ率直なご意見・感想をうかがいたいです。どうぞお力添えくださいませ。〈し〉【「つちおと」文責：校長 小林徹哉】



学力向上に関して：T教育アドバイザーの助言から(12/5)

「聞く力」「話す力」「書く力」をいかに伸ばしていくか！



【種村教育アドバイザーが1年生から6年生までの全クラスの授業を3時間かけて回りました。いいところをいっぱい見つけ出していました。】

12/5(木)に小林は、T教育アドバイザーと一緒に全学級を参観しました。これがとっても役に立ちました。まさしく、それぞれの授業の「よさ」と「子どもの取り組み方のよさ」「担任の指導のよさ」を肌で感じ取る時間となったのです。

それぞれの学級は、算数だったり、国語だったり、社会だったり、道徳だったり…授業は本当に様々でした。T教育アドバイザーは、中越教育事務所で算数の指導主事として活躍されたり、湯沢学園の学園長として活躍されたりと、学習指導のスペシャリストです。私も、燕の教育委員会で指導主事をしていた頃、板書や授業プラン等の具体的な指導場面に同席することがありました。本当に尊敬する先輩です。その方のつぶやきやコメントを聞くことができるのですから、一緒に歩いた私が一番得をしました。

裏館小学校では、この2学期「聞くこと」に力点を置いて授業改善に努めてきました。「話す・書く」のベースになる「聞く」を充実させていくことが、この裏館小の子どもたちに必要だろうと判断したからです。学校全体が日々の授業で、様々な教育活動の展開場面で意識してきたのが「聞くこと」でした。さて、その具体的姿が、種村教育アドバイザーの目にどう映るか～楽しみでもあり、ハラハラもしながら全学級を参観したのでした。「聞く力」の前に、重視していたのが、「ペタピングー」です。これは「足は・ペタ」「背中は・ピン」「おなかと背中に・グー一つ」を意味しています。どの学年でも、中学でも、高校でも、その先でも大切なのはこのことだそうです。姿勢がいいと『集中力』が長く続き、目と耳のエンジンが全開になるとのことでした。なるほど、自分のことに当てはめてみてもそうです。「いい姿勢でいること」が、集中力とやる気につながる～つまり、学力向上のベースになるとのことでした。

その視点から、種村教育アドバイザーは、1年生から6年生までの全学級をチェックしていたのです。

なるほど、授業内容や作業(活動)に集中していた子どもたちは、「ペタピングー」でした。集中して授業に取り組んでいる姿は、美しい。1年生でも6年生でも…。その集中していた姿が、「分かる」につながり、「分かる」と授業が「楽しくなる」のです。授業が楽しくなれば、教室の中を歩き回ったり、ほかの子に話しかけたりしません。そういった「よさ」が、相乗効果を生み出し、授業の質が向上していくのです。種村教育アドバイザーから「裏館の子は、いい方向に成長している」と褒められました。さらにいい授業にしていくために、担任と裏小っ子は、いい姿勢で学びます！学力を伸ばしていきます！！

..... キ リ ト リ セ ン

裏館小の保護者の皆様は、この用紙を3学期初日に、児童に持たせてください。担任を通して小林が受け取ります。

地域の皆様は、学校にFAXしていただくか、近所の子に子どもに預けるなどして届けていただくと、とってもうれしいです。書くのが面倒であれば、電話でも構いません。その声を届けていただけるだけで幸せです。感想や意見をどうぞよろしくお願ひいたします。裏館小で「ツーウェイ(双方向)」に初挑戦です！【裏館小学校 FAX:33-4374 Tel:33-0465】

氏名() 児童名(年組) ※ 地域の方: 町内()